

平成29年度 施策評価シート

基本目標	I	「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	110	伝統文化を継承、発展させ、新たな文化・芸術を創造する
施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる
施策の目標	すみだの歴史や文化に区民がふれることで、郷土に対する理解・愛着が深まり、さらに区民が将来にわたり伝統文化を継承、発展させ、文化財が大切に保護されています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「伝統文化が保護、継承されている」と思う区民の割合									
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
目標	71.6				77.0					80.0
実績	71.6									
指標名	「墨田区の歴史や文化を学んでいる」区民の割合									
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
目標	24.1				39.0					50.0
実績	24.1									

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移 (千円)	
<ul style="list-style-type: none"> 平成8年3月に東京都指定文化財の名勝に指定された旧安田庭園において、平成17年度に旧安田庭園整備保存管理計画を策定し、平成20年度まで喫緊な課題について短期整備を進めてきたが、その後、両国会堂の活用計画との調整を図るために一時事業を休止していた。平成27年度に新たに旧安田庭園中期整備計画を策定し、現在、文化財庭園としての価値を高める魅力ある庭園整備を継続実施している。 歴史文化公園整備事業として、露伴児童遊園に幸田露伴の人物像・作品等を解説したウォール、カタツムリのモニュメント等を平成25年度に整備した。平成27年度には、両国公園で勝海舟にゆかりのある人物や出来事を解説したウォール等を整備し、平成28年度には、梅若公園で梅若伝説と榎本武揚を紹介する解説ウォール等を設置した。 	H28	295,168
	H29	
	H30	

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	・公園内の歴史・文化資源の魅力を高め、広く発信し、区内回遊性を向上させる。

4 今後の施策の運営方針

評価	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
○	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
・区内に点在する、公園内の歴史・文化資源の魅力を広く発信し継承していく。	
【今後の具体的な方針】	
<ul style="list-style-type: none"> 旧安田庭園においては、平成27年度に新たに策定した中期整備計画に基づき、刀剣博物館などの周辺施設との連携を図り、庭園の保存管理と更なる活性化・魅力向上を図る。 歴史文化公園整備事業については、整備3公園の効果検証や利用促進を行う。 	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標		直近の評価内容
				年度目標値	推移	評価結果
				年度実績値		評価対象年度
1	旧安田庭園再整備事業	251,794	旧安田庭園の文化財庭園としての価値が向上する。刀剣博物館との連携により文化の発展が望める。	71.6	→	現状維持
				71.6		平成28年度
2	歴史文化公園整備事業	43,374	区民に身近な公園において、歴史・文化を紹介することにより、区民の郷土に対する理解と愛着を深め、将来にわたり伝統文化を継承することができる。	71.6	→	統合
				71.6		平成28年度
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

平成29年度 事務事業評価シート

施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる	部内優先順位					
事務事業	旧安田庭園再整備事業					1		
事業概要	平成8年3月に東京都指定文化財の名勝に指定された旧安田庭園において、平成17年度に「旧安田庭園整備保存管理計画」を策定し、平成27年度には「旧安田庭園中期整備計画」を策定して、文化財庭園としての整備に取り組んでいる。					主管課・係（担当）		
						道路公園課計画調整担当		
						03-5608-6661		
施策への 関連性	旧安田庭園の文化財庭園としての価値が向上する。 刀剣博物館との連携により文化の発展が望める。							
必要性・ 妥当性	区民のニーズ							
	墨田区住民意識調査（第24回）において、「すみだ」らしいと思う景観・街並みで「旧安田庭園・向島百花園等の歴史ある公園」が10.6%と高く、旧安田庭園は来街者へ勧められる施設であるといえる。							
	代替可能性の状況（区が実施する必要性等）							
	区が公園管理者であり、本事業は旧安田庭園の保存管理に関する事業であるため、区民や企業等では実施できない。							
有効性・ 適格性	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	旧安田庭園中期整備専門委員会の開催				単位	回/年
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31	
		1	37	目標	1	1	1	1
				実績	1			
			H32	H33	H34	H35	H36	H37
		目標	1	1	1	1	1	1
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	適正かつ円滑な保存管理の実施に繋がり、平成37年度までに中期整備計画に基づく整備を終わらせることが可能となる。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「伝統文化が保護・継承されている」と思う区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31	
		80	37	目標	71.6	71.6	71.6	71.6
			実績	71.6				
		H32	H33	H34	H35	H36	H37	
目標		77.0	77.0	77.0	77.0	77.0	80.0	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
文化財庭園としての整備を行った結果が、歴史・文化の保護・継承を感じる区民の割合の増加に繋がる。								
財政面 (決算額) (単位：千円)	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
	251,794							
	H35	H36	H37	〔予算の傾向〕 平成29年度のトイレや門等の改修後、予算額は減少していく見込みである。				

1 必要性・妥当性													
区民ニーズの有無	ある												
代替可能性の有無	ない												
区が実施すべき強い理由があるか	ある												
判断理由													
公園管理者である区が行う、文化財庭園としての旧安田庭園の保存管理に関する事業であり、区民や企業等では実施できない。		<table border="1"> <tr> <td>必要性 妥当性</td> <td>有効性 適格性</td> <td>効率的 経済性</td> <td>評価結果</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </table>				必要性 妥当性	有効性 適格性	効率的 経済性	評価結果	5	5	5	5
必要性 妥当性	有効性 適格性					効率的 経済性	評価結果						
5	5					5	5						
2 有効性・適格性													
事業の目的が施策に合致しているか	合致している												
指標は目標値を満たしているか	満たしている												
かけたコストに対し十分な成果があるか	ある												
判断理由		<p style="text-align: center;">現状維持の上継続</p>											
専門委員会を開催しながら事業を進めており、区民ニーズにこたえる具体的な事業であるため。													
3 効率性・経済性													
目的・対象が類似する事務事業はないか	ない												
実施工程やコストに改善の余地がないか	ない												
地域社会やその他住民への波及効果があるか	ある												
判断理由		<p style="text-align: center;">現状維持の上継続</p>											
計画に基づき、庭園を改修して文化財庭園としての価値を高め、区内観光に資することができる。													
中間・最終年度の講評	文化財庭園としての保存、管理が適切に行われており、継続していくことが必要である。												
今後の方向性	中期整備計画に基づき整備を進め、整備後の管理手法及び利用促進について検討を行っていく。												

平成29年度 事務事業評価シート

施 策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる	部内優先順位					
事務事業	歴史文化公園整備事業					2		
事業概要	地域ゆかりの歴史・文化を伝承していく場所として石碑や銅像等周辺を修景整備し、公園の魅力向上と周辺地域への観光回遊性向上を図る。					主管課・係（担当）		
						道路公園課計画調整担当		
						03-5608-6288		
施策への 関 連 性	区民に身近な公園において、歴史・文化を紹介することにより、区民の郷土に対する理解と愛着を深め、将来にわたり伝統文化を継承することができる。							
必要性・ 妥当性	区民のニーズ							
	墨田区住民意識調査（第24回）において、「区外の人にアピールしたいものごと・特徴」として「歴史や縁の人物」が13.7%と高くなっている。							
	代替可能性の状況（区が実施する必要性等）							
	公園施設であり、地域住民との調整、歴史の検証という観点からも区が行うべき事業である。							
有効性・ 適格性	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	歴史文化公園数（累計）				単 位	園
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31	
		3	37	目 標	3	3	3	
				実 績	3			
			H32	H33	H34	H35	H36	H37
		目 標	3	3	3	3	3	3
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	歴史文化公園の整備数に応じ、歴史と文化に接する区民の数も増加する。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	「伝統文化が保護・継承されている」と思う区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31	
		80	37	目 標	71.6	71.6	71.6	71.6
			実 績	71.6				
		H32	H33	H34	H35	H36	H37	
目 標		77.0	77.0	77.0	77.0	77.0	80.0	
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
整備に伴い伝統文化が保護・継承されていると考える区民の割合の増加も期待される。								
財 政 面 (決算額) (単位：千円)	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
	43,374							
	H35	H36	H37	〔予算の傾向〕 整備の際には同程度の予算額が必要となる。				

1 必要性・妥当性					
区民ニーズの有無	ある				
代替可能性の有無	ない				
区が実施すべき強い理由があるか	ある				
判断理由					
地域の歴史・文化の継承についてニーズは高く、区民が誇れる観光資源として区が整備・保存していく必要がある。					
2 有効性・適格性					
事業の目的が施策に合致しているか	合致している				
指標は目標値を満たしているか	満たしている				
かけたコストに対し十分な成果があるか	ある				
判断理由		必要性 妥当性	有効性 適格性	効率的 経済性	評価結果
整備目標は達成している。施設のPRを行うことで十分に成果を発揮できる。		5	5	1	2
3 効率性・経済性		<p style="text-align: center;">類似事業との統合</p>			
目的・対象が類似する事務事業はないか	ある				
実工程やコストに改善の余地がないか	ない				
地域社会やその他住民への波及効果があるか	ある				
判断理由					
効果測定や他部署との連携などを今後進めていく必要がある。					
中間・最終年度の講評	効果の検証が課題であるが、地域の歴史・文化の継承についてのニーズは高く、継続していくことが必要である。				
今後の方向性	平成28年度末までに露伴児童遊園、両国公園、梅若公園の整備を行った。今後は、施設のPRや他の歴史・文化施設との回遊性などの検証を行うとともに、他の事業に統合し事業を継続する。				